



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	74,077	△7.7	8,342	8.4	9,092	13.4	6,352	37.3
24年12月期第3四半期	80,230	△2.0	7,693	△10.7	8,020	△8.1	4,626	△11.1

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 6,802百万円(46.9%) 24年12月期第3四半期 4,630百万円(△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	152 69	—
24年12月期第3四半期	109 70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	94,839	72,498	76.2
24年12月期	91,061	68,202	74.6

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 72,228百万円 24年12月期 67,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
25年12月期	—	30 00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、平成25年12月期の1株当たり期末配当金については未定です。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	5.3	12,000	36.0	12,000	12.6	7,200	15.9	171 13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	42,206,540 株	24年12月期	42,206,540 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	606,284 株	24年12月期	605,832 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	41,600,376 株	24年12月期3Q	42,173,273 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成25年12月期の1株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）の経済情勢は、長期化する欧州の景気低迷や中国経済の不透明感など楽観できない要因はあるものの、積極的な金融・財政政策を推し進めるアメリカとわが国を中心に景気を下支えしています。世界経済全体としては次第に回復基調がみられるようになり、景気は緩やかに回復しつつあります。為替は、前期と比べ米ドル、ユーロともに円安傾向で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場は、厳しい状況で推移しました。ドキュメントスキャナー市場は、低価格・コンパクトタイプを中心に市場が拡大しました。情報関連市場は、堅調に推移しました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。また、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を全社員で強力に推し進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は740億77百万円（前年同期比7.7%減）、連結営業利益は83億42百万円（前年同期比8.4%増）、連結四半期純利益は63億52百万円（前年同期比37.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンポーネント

当セグメントにおきましては、レンズ交換式デジタルカメラ関連製品について、防振ユニット及び交換レンズ用絞りユニットは堅調に推移しましたが、シャッターユニットは厳しい状況で推移しました。一方、コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットはスマートフォンの普及の影響等により、また、ムービー用絞りユニットは市場縮小の影響を受け、売上は減少しました。レーザーสキャナーユニットは販売数が前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は406億29百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は55億78百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、昨年下期に投入したimageFORMULA（イメージフォーミュラ）シリーズの新製品「DR-1100/1130」の販売数が上向き、売上が増加しました。ハンディターミナルは、金融業界向けや飲料業界向けで大型商談を獲得し、売上が増加しました。また、7月に標準型ハンディターミナルの新製品「GT-30/31」、9月にグリップ型ハンディターミナルの新製品「ET-100」を発売し、拡販を行いました。レーザープリンターは売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は252億90百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は37億37百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、情報関連事業において、新製品として、ハッカーによる標的型攻撃から企業の情報資産を守るWindows用セキュリティソフト「SML セキュリティスイート」を発売し、拡販を行いました。また、システム開発案件の獲得に努めるとともに、金融機関向け、医療機関向け等のパッケージソフトウェアの販売にも注力しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は81億56百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失は71百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は948億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億77百万円増加しました。流動資産は560億円となり、40億96百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は388億38百万円となり、3億18百万円減少しました。うち有形固定資産は346億14百万円となり、3億38百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は223億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億18百万円減少しました。流動負債は199億円となり、1億19百万円減少しました。主な要因は、未払費用の減少によるものです。固定負債は24億40百万円となり、3億98百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は724億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億96百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.6%から76.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しにつきましては、平成25年1月28日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,110億円、連結営業利益120億円、連結経常利益120億円、連結当期純利益72億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当社は、永年勤続の従業員に対する慰労金の支出に備えるため、内規に基づく支給見込額を「永年勤続慰労引当金」として計上していましたが、リフレッシュ休暇制度の廃止に伴い、「永年勤続慰労引当金」を第1四半期連結会計期間において全額取り崩しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,489	28,999
受取手形及び売掛金	16,879	19,670
リース投資資産	204	154
商品及び製品	1,570	1,577
仕掛品	2,875	3,133
原材料及び貯蔵品	135	96
繰延税金資産	428	896
その他	1,325	1,476
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	51,903	56,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,844	14,395
機械装置及び運搬具(純額)	2,204	2,029
工具、器具及び備品(純額)	3,163	3,460
土地	13,696	13,784
建設仮勘定	366	944
有形固定資産合計	34,275	34,614
無形固定資産		
のれん	185	46
その他	841	868
無形固定資産合計	1,026	915
投資その他の資産		
投資有価証券	1,403	1,080
繰延税金資産	1,587	1,345
その他	865	883
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	3,855	3,309
固定資産合計	39,157	38,838
資産合計	91,061	94,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,576	14,370
リース債務	75	73
未払費用	1,448	940
未払法人税等	1,702	1,984
賞与引当金	352	1,471
役員賞与引当金	50	47
受注損失引当金	45	33
その他	1,766	979
流動負債合計	20,019	19,900
固定負債		
退職給付引当金	2,255	2,104
役員退職慰労引当金	371	252
繰延税金負債	48	5
資産除去債務	—	4
その他	164	73
固定負債合計	2,839	2,440
負債合計	22,858	22,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	54,808	58,664
自己株式	△1,070	△1,071
株主資本合計	68,302	72,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	133
為替換算調整勘定	△464	△62
その他の包括利益累計額合計	△375	71
新株予約権	235	225
少数株主持分	40	44
純資産合計	68,202	72,498
負債純資産合計	91,061	94,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	80,230	74,077
売上原価	64,772	57,749
売上総利益	15,458	16,327
販売費及び一般管理費	7,764	7,985
営業利益	7,693	8,342
営業外収益		
為替差益	193	588
その他	138	165
営業外収益合計	332	753
営業外費用		
支払利息	2	—
その他	3	3
営業外費用合計	5	3
経常利益	8,020	9,092
特別利益		
投資有価証券売却益	33	675
その他	9	49
特別利益合計	43	724
特別損失		
固定資産除売却損	2	3
投資有価証券評価損	584	—
その他	52	—
特別損失合計	639	3
税金等調整前四半期純利益	7,423	9,813
法人税、住民税及び事業税	3,048	3,716
法人税等調整額	△253	△259
法人税等合計	2,795	3,457
少数株主損益調整前四半期純利益	4,628	6,356
少数株主利益	1	4
四半期純利益	4,626	6,352

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,628	6,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	44
為替換算調整勘定	15	402
その他の包括利益合計	2	446
四半期包括利益	4,630	6,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,628	6,798
少数株主に係る四半期包括利益	1	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	44,397	28,014	72,412	7,818	80,230	—	80,230
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	72	636	708	101	810	△810	—
計	44,470	28,650	73,121	7,919	81,041	△810	80,230
セグメント利益 又は損失 (△)	5,251	3,282	8,534	△338	8,196	△502	7,693

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	40,629	25,290	65,920	8,156	74,077	—	74,077
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	54	642	697	178	876	△876	—
計	40,684	25,933	66,618	8,335	74,953	△876	74,077
セグメント利益 又は損失 (△)	5,578	3,737	9,315	△71	9,244	△902	8,342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。